



③整理・分析

集めた情報を整理したり、整理した結果から何ができるか分析したりしよう！



グループング（仲間分け）

アンケートの記述による回答などの特徴や傾向を知ることができます。

- 1枚のカードや付箋にそれぞれ1つの内容となるよう書き出します。
- 同じ内容や似ている内容を見つけてカードや付箋の仲間分けをし、まとまりごとにタイトルを付けます。
- まとまりとまとまりの間につながりを見つけたら、矢印や線で結んだり、気づいたことなどを書き込んだりします。



ベン図

集めた情報の共通点と違いを明らかにすることができます。

- 1枚のカードや付箋にそれぞれ1つの内容となるよう書き出します。
- 整理する視点を2～3つ決めて、それに合ったベン図を用意します。
- カードや付箋をベン図に位置付けます。



座標軸

2つの視点を組み合わせて、集めた情報の特徴や傾向を明らかにすることができます。

- 1枚のカードや付箋にそれぞれ1つの内容となるよう書き出します。
- 整理する視点を2つ決めて、座標軸を用意します。
- カードや付箋を座標軸に位置付けます。



ピラミッドチャート

集めた情報を具体化したり抽象化したりすることができます。

- 1枚のカードや付箋にそれぞれ1つの内容となるよう書き出します。
- 集めた情報を具体化（個別化、分解）したいときには、ピラミッドの上から下にカードや付箋を整理します。
- 集めた情報を抽象化（一般化、統合）したいときには、ピラミッドの下から上にカードや付箋を整理します。



グラフ

集めた情報の特徴や傾向が一目で分かるようになります。

- 解決したい課題や集めた情報、グラフの特徴を比べながら、グラフの種類を選びます。
- 算数の学習でデータを調べたり整理したりした経験を活用します。
- 表計算ソフトを活用することも考えられます。



地図

集めた情報について、場所による特徴や傾向を捉えることができます。

- 拡大した地図に色の付いた丸シールなどを貼ると結果が分かりやすくなります。
- 社会の学習で地図を使って調べたり整理したりした経験を活用します。
- 地図アプリケーションを活用することも考えられます。

